

松原市の予算

市の1年間のお金の使い方を示した「平成28年度当初予算」がまとまりました。どのような事業が行われ、私たちの暮らしにどうかかわってくるのか、今回の特集では、今年度の予算の内容と主な事業を紹介します。

▶問合せ 財政課

Q. そもそも 予算ってなに？

A. 市の1年間の収入と支出の予定を表したものです。市の収入源や、今年度に行う事業とそれにかかる費用などを示しています。また、市の予算は「一般会計」、「特別会計」および「企業会計」の3種類で構成しています。

予算総額 888億6,973万4千円【対前年度比+3.7%】

一般会計
461億1,000万円
【対前年度比+7.4%】

福祉、健康、教育、道路、公園の整備など市が行う基本的な仕事にかかる費用をまとめた会計です。

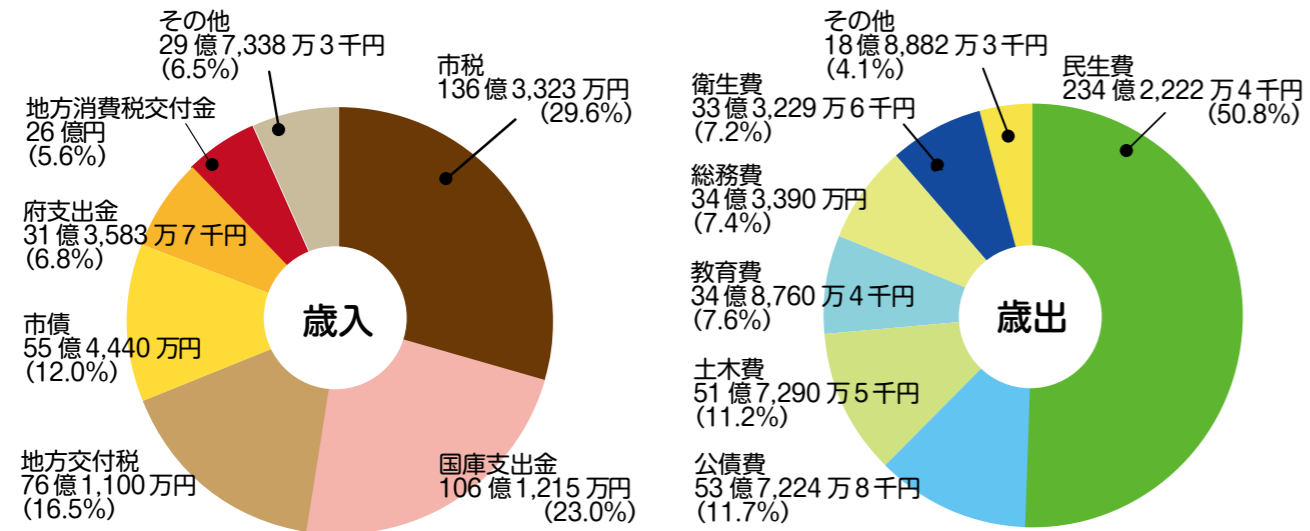
特別会計
391億6,643万4千円
【対前年度比+0.6%】

国民健康保険や介護保険など、一般会計とは区別が必要な会計です。

企業会計
35億9,330万円
【対前年度比▲5.7%】

1つの会社のように独立採算で事業・経理を行うもので、市では水道事業会計があります。

歳入・歳出の内訳（一般会計 461億1,000万円）



主な収入（歳入）の種類について、皆さんが市に納める税金、国や府から交付されるお金、公共施設の使用料、借入などがあります。主な支出（歳出）の種類については、子育て支援などの福祉、ごみの収集や処理、道路や公園の整備、借入の返済などにかかるお金などです。

平成28年度の一般会計当初予算において、歳入では、市税が約136億3千万円（対前年度比0.3%減）で、歳入予算総額の約3割を占め、次いで、国庫支出金が約106億1千万円（同13.1%増）となっています。歳出については、市立第4保育所建替事業などにより増加した民生費が約234億2千万円（同10.5%増）で、歳出予算総額の約半分を占めるほか、土木費・公債費などが対前年度で増加しています。

日本一へのさらなる挑戦

2期目のスタートから、早くも3年が経過しようとしております。

引き続き、市民の皆様とお約束しました「安心・安全なまち日本一に！！」「長生き日本一に！！」「便利・清潔なまち日本一に！！」の達成に向け、スピードを持って「さらなる挑戦」をしてまいります。

大阪府下で比較しましても、厳しい財政状況の本市が充実した施策を実施できているのも「選択と集中」を心がけた新たなごみ処理をはじめ行財政改革の断行と何より市民との協働の取り組みの成果であると認識しております。これからも「市政に何が求められているのか」を常に冷静に見極め、大阪初の「セーフコミュ

ニティ国際認証都市」として、市民の皆様との協働による取り組みを一層推し進め、「日本一健康で安心・安全なまちづくり」に挑んでまいります。

人口減少という大きな問題が叫ばれている中、「若い世代の就労」や「子育て支援の充実」などにより、「ひと」「しごと」の循環が生まれ、「まちの活力」が上昇し、人口減少を克服するものであると考えます。

本市が進めている企業誘致は、市内雇用の拡大や定住人口の獲得など、まさに「まち」の活性化につながるものであり、さらに、セーフコミュニティの柱である協働の

まちづくりを進める事こそが、松原市をさらに発展させていくものであると信じております。

次代を担う子どもたちに繋いでいけるよう、さらなるチャレンジを進めてまいりますので、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



第1回定例会で施政方針を述べる澤井市長

松原家の家計簿

平成28年度の一般会計当初予算を、10万で除して、ひと月の家計に置き換えてみました。

〈各項目で端数処理しています〉

収入		支出	
	(対前月増減)		(対前月増減)
給料(市税)	136,330円 (▲440円)	食費(人件費)	75,820円 (+960円)
パート収入	11,770円 (▲50円)	医療費(扶助費)	142,710円 (+7,990円)
(使用料及び手数料など)		ローンの返済(公債費)	53,710円 (+5,220円)
親からの仕送り	245,790円 (+21,790円)	光熱水費など雑費(物件費)	51,330円 (+660円)
(国・府支出金、地方交付税など)		子どもへの仕送り(繰入金)	64,260円 (+2,930円)
不動産の売却益など(財産収入)	1,690円 (+30円)	家の改修、車の購入	41,480円 (+11,990円)
預金の取り崩し(繰入金)	10,080円 (▲330円)	(投資的経費)	
ローンの借入(市債)	55,440円 (+10,760円)	その他(補助費、積立金など)	31,790円 (+2,010円)
合計	461,100円 (+31,760円)	合計	461,100円 (+31,760円)

支出(歳出)の分類方法はさまざまありますが、民生費、土木費、教育費など行政目的に応じた分類に対し、ここでは性質を基準として支出を分類しています。

- 人件費** 市役所で働く職員に對し支払われる給料など
- 扶助費** 高齢者や障害者、子育てなどの生活をサポートするお金
- 公債費** 市債の償還などにかかるお金
- 物件費** 光熱水費、文具などの購入費、事務機器のリース代など
- 繰入金** 一般会計から特別会計に對して支払うお金
- 投資的経費** 公共施設の整備などにかかるお金

今月(平成28年度)は、家の改修費や医療費の支出が増加したことに伴い、親からの仕送りやローンの借入の収入が増えています。

平成28年度の主な事業

■は新規事業 ●は継続事業 金額は事業予算額

1 安心して住み続けることができるまちづくり

さらなる協働と次世代のパートナーづくり
●セーフコミュニティ推進事業 4,966千円

警察や地域団体との協働によるセーフコミュニティの取り組みの成果として、街頭犯罪や交通事故などの件数が減少しています。大阪府初のセーフコミュニティ国際認証都市として、安心・安全なまちづくりに取り組むとともに、次世代のパートナーづくりに向け、協働の輪をより一層広げます。



自転車に乗る際はヘルメットの着用を
■高齢者自転車用ヘルメット購入費助成事業 600千円

高齢者の自転車乗用中の事故において、頭を負傷する割合が高いことから、65歳以上の高齢者を対象に新たに自転車用ヘルメット購入費用の一部を助成します。

災害に強い水道施設を構築します
■浄配水場施設整備事業 60,072千円

大阪広域水道企業団のポンプ場建設に併せ、松原ポンプ場配水設備を整備することで、災害時における配水機能の強化を図ります。



ごみの減量化と利便性の向上を図ります
■不燃物・粗大ごみ収集における電話申込制の導入 4,950千円

ごみの分別区分の変更に伴い、不燃物・粗大ごみ収集における電話申込制を導入することで、ごみ排出のさらなる減量化と利便性の向上を図ります。

次世代の消防団の人材確保に向けて
■消防団サポーター事業 151千円

大学生を対象に消防団サポーター事業を立ち上げ、消防団活動の理解と参加を求めます。また、地域貢献への認証を行い、就職活動に役立ててもらおうなど、産学官が連携した消防団員の確保を目指します。



2 市民誰もが健やかに暮らせる和らぎのまちづくり

健やかな出産を迎えるために
●妊婦健康診査事業 71,335千円

妊婦の健康管理の向上と健やかな出産を迎えるために、妊婦健診において、市内医療機関での本人負担がゼロとなるよう助成額を増額します。



障害者とともに歩む社会を促進します
●障害者スポーツを通じた人権啓発の取り組み 1,245千円

障害のある人、ない人ともにスポーツを楽しむことができる環境づくりのため、パラリンピックの正式種目であるボッチャ大会を開催するとともに、障害への理解を深める取り組みを実施します。



子どもの健やかな成長を支援します
●子ども医療費助成事業 327,543千円

入院医療費の助成対象年齢を小学校卒業から中学校卒業までへと引き上げることで、子どもの健やかな成長を支援し、子育て世帯の経済的負担軽減を図ります。



3 未来を拓く自立心を育む人づくり

保育環境の充実で待機児童「ゼロ」へ
■市立第4保育所建替事業ほか 906,158千円

老朽化した市立第4保育所を建て替え、保育定員の増数を図ります。また、民間保育所の建て替えや認定こども園への移行に伴う改修に対して助成を行うことで、通年における待機児童「ゼロ」と保育環境の充実を目指します。

よりよい図書館サービスを目指して
■新図書館建設調査事業 3,500千円

図書館機能について、現在の分散型から中央への集約という答申に基づき、新図書館建設に向け、建設候補地の調査を行います。



子育て日本一を目指します
■地域子育て支援拠点事業ほか 55,514千円

子育て支援センターを新たに2カ所開設し、子育て相談を充実することで、保護者の不安感や負担感を軽減します。また、子育て支援センターなどの利用で、各種特典が受けられる制度（松原子育てポイントカード）を導入し、在宅子育て世帯を応援します。

快適な環境で学習を支援します
■各小中学校特別教室等空調設備新設事業 80,100千円

全小中学校の特別教室などに空調機器を設置することで、より多くの児童・生徒が暑い中でも快適に授業を受けることができる環境を整備します。



4 利便なまち、元気で活力あふれるまちづくり

まちのにぎわいに向けて
■観光事業 4,220千円

産・学・官・金の協働による観光プロジェクトを踏まえ、観光誘客の観点から市内経済活性化の向上のため、ホテル誘致と観光事業に取り組むなど、まちのにぎわいを創出します。

平成30年春のまち開きを目指して
●天美地区土地区画整理事業 1,362,016千円

天美東土地区画整理組合が実施する、道路・水路・調整池といった公共施設の整備などに対して支援することで、土地区画整理事業を促進させ、イトーヨーカ堂のオープンなど、平成30年春のまち開きを目指して進めていきます。

新たなまちづくりに向けた取り組み
●新堂地区まちづくり事業 2,300千円

新堂地区において、土地区画整理準備組合の設立を目指し、地元まちづくり協議会及び事業化検討パートナーであるイオンタウンおよび戸田建設と、土地区画整理事業について検討を重ねます。

若い世代の定住促進に向けて
■三世帯近居等助成事業ほか 10,232千円

次代を担う若者世代の市内定住を目指し、婚活イベントを企画するほか、市内に住む親世帯と同居する子世帯などを対象とした、住宅取得に係る登記費用への一部助成制度を創設します。

5 市民と行政の協働によるまちづくり

松原市の魅力を全国に発信します
●松原市PR事業 12,000千円

市制施行60周年を記念して松原市観光親善大使に就任された、本市出身のロックバンド「flumpool」とともに、様々な媒体を通じて、より効果的な情報発信により、松原市のPRに努めます。



伝統行事の維持・継承を支援します
■活力ある地域づくり助成事業 3,000千円

地域コミュニティのさらなる活性化のため、町会などが管理する、伝統行事に使用するだんじりやみこし、太鼓などにかかる修繕費用の一部を助成します。



事業の見直し効果を新たな取り組みへ

市では限られた財源で最大の効果を生み出すよう、自主財源の確保や既存事業の整理合理化、ごみ排出の減量化など、事業の見直しに積極的に取り組み、その効果により必要な行政サービスを確保し、市民満足度の向上を目指します。

事業見直しによる効果額

- ・公有財産の有効活用
- ・公共施設の整理統合

効果

- ・介護予防支援
- ・歩行者などの交通安全対策
- ・消防力、救急体制の充実強化
- ・在宅子育て支援
- ・妊婦健康診査助成の拡充
- ・待機児童「ゼロ」に向けた取り組み
- ・各種がん検診や予防接種など疾病予防対策
- ・子どもの入院医療費助成の拡充
- ・子どもの学力向上に向けた取り組み
- ・道路ネットワークの整備